

EHIME PREFECTURAL UNIVERSITY OF HEALTH SCIENCES 2018



公立大学法人
愛媛県立医療技術大学

保健科学部 看護学科
臨床検査学科

助産学専攻科
大学院保健医療学研究科

大学案内 2018
INFORMATION



愛媛県イメージアップキャラクター
みきやん

公立大学法人
愛媛県立医療技術大学
〒791-2101
愛媛県伊予郡砥部町高尾田543番地
TEL 089-958-2111 FAX 089-958-2177
<http://www.epu.ac.jp/>

- 技と思考を鍛える -

愛媛県立医療技術大学のキャンパスは、松山市の郊外、「アートの里」砥部町の静かな恵まれた教育環境にあります。本学は地域の保健医療福祉に貢献できる人材を育成する県立の4年制大学です。社会から求められるのは、プロとしての確かな力です。4年間で人として豊かに生きる感性を磨きながら、医療の技と思考を鍛えます。決してやさしい道ではありませんが、プロとしての厳しさとやりがいにチャレンジするあなたを応援します。

- 沿革 -

昭和62年12月 愛媛県立医療技術短期大学認可
昭和63年 4月 愛媛県立医療技術短期大学開学
平成 3年 4月 愛媛県立医療技術短期大学に専攻科開設
平成19年 3月 愛媛県立医療技術短期大学閉学

平成15年11月 愛媛県立医療技術大学設置認可
平成16年 4月 愛媛県立医療技術大学開学
平成22年 4月 公立大学法人に移行
平成24年 4月 愛媛県立医療技術大学に助産学専攻科開設
平成25年12月 愛媛県立医療技術大学大学院設置認可
平成26年 4月 愛媛県立医療技術大学大学院開設



- CONTENTS -

学長メッセージ	3
保健科学部	5
看護学科	7
臨床検査学科	11
助産学専攻科	15
学生支援	18
卒業生の状況及び就職状況	19
授業料・奨学金・その他の制度	20
大学院・図書館	21
在校生・卒業生からのメッセージ	23
キャンパスカレンダー・地域交流センター	25
キャンパスガイド	27
入学試験・オープンキャンパスについて	29
アクセスマップ	30

学長からのメッセージ

- 熱き心を持つ医療人を育てる -



現在の我が国は、人口の減少と高齢者の急激な増加、いわゆる少子高齢化が進んでおります。このような状況下で、医療の仕事は、社会から大いに期待され、社会に大きく貢献する大切な仕事です。患者や家族の皆さんに頼りにされ感謝される、やりがいのある仕事です。しかし、単に医療の技術を学ぶだけでは立派な医療人になれるわけではありません。医療に対する熱意を身につけてこそ、患者さんに安心を届けることができるのです。このような考えに基づき、小規模であることを生かした密度の濃い教育が本学の特徴です。我々、教職員一同、学生の皆様の期待に応え、最高の教育を行えるよう努力しております。新しい大学ですが、それだからこそ、これから入学される皆さんが、希望に燃えて、この大学の新たな歴史を自分たちで作り上げ、さらに後に続く後輩につないでいくことを期待しています。

公立大学法人 愛媛県立医療技術大学

学長 橋本 公二

Koji Hashimoto

教育理念

生命の尊重を基本理念とし、豊かな人間性と倫理観によって培われた広範な視野と深い人間理解の下に、保健及び医療に関する高度の専門的な知識と技術をもって、あらゆる人々の健康と福祉の増進に寄与することができる実践者を育成します。

教育目標

実践能力

高度の専門的知識・技術を駆使し、科学的根拠に基づいた実践能力を有する人材を育みます。

豊かな感性

深い人間理解と高度な倫理観及び生命の尊厳を基盤とし、豊かな感性により人間の感情・意思及び自己決定権を尊重する人材を育みます。

協調・共働

保健・医療・福祉・教育など他の専門職の役割を理解し、柔軟に協調・共働しうる人材を育みます。

柔軟な思考

医学・医療技術の進歩発展や、保健医療に対する社会の変化・多様化に伴う要請に柔軟に対応しうる人材を育みます。

自己教育力

職業人として自らの行動に責任を持ち、かつ継続的な学習により能力を高める人材を育みます。

【アドミッションポリシー】

本学の設置理念や教育目的に賛同し、地域の保健医療に貢献しようとする人材を受け入れます。受入れにあたっては、入学志願者の能力および適性等を多面的に判定し、多様な選抜試験を公正かつ妥当な方法で実施します。

求める学生像は以下のとおりです。

- 保健医療に関心をもち、地域社会に貢献する意欲がある人
- 自己の人間性を育み、他者を尊重する態度を有している人
- 物事を論理的・多面的に捉え、自分の考えを表現できる人
- 保健医療を学ぶために必要な基礎学力を身につけている人

保健科学部 Faculty of Health Sciences



- 愛媛・砥部の里から光る原石の皆さんへ -

本学学校案内を手にとっただき、ありがとうございます。
本学は小規模校ではありますが、それだけに学生同士、学生と教員との距離が近く、学生たちは医療という厳しい学びのなかにあっても互いに支え合い大きく成長していきます。ここは“思考と技”に加えて“人間力”を鍛えられる場でもあります。
入学してくる学生たちは皆資質が高く、“磨けば光る原石”ばかりです。本学卒業・修了後には期待どおり輝きを放てるようこれからも一人ひとりを大切に育てていきたいと思っております。この愛媛・砥部の里とともに学び、医療者の一員に加わってくださることを期待しています。

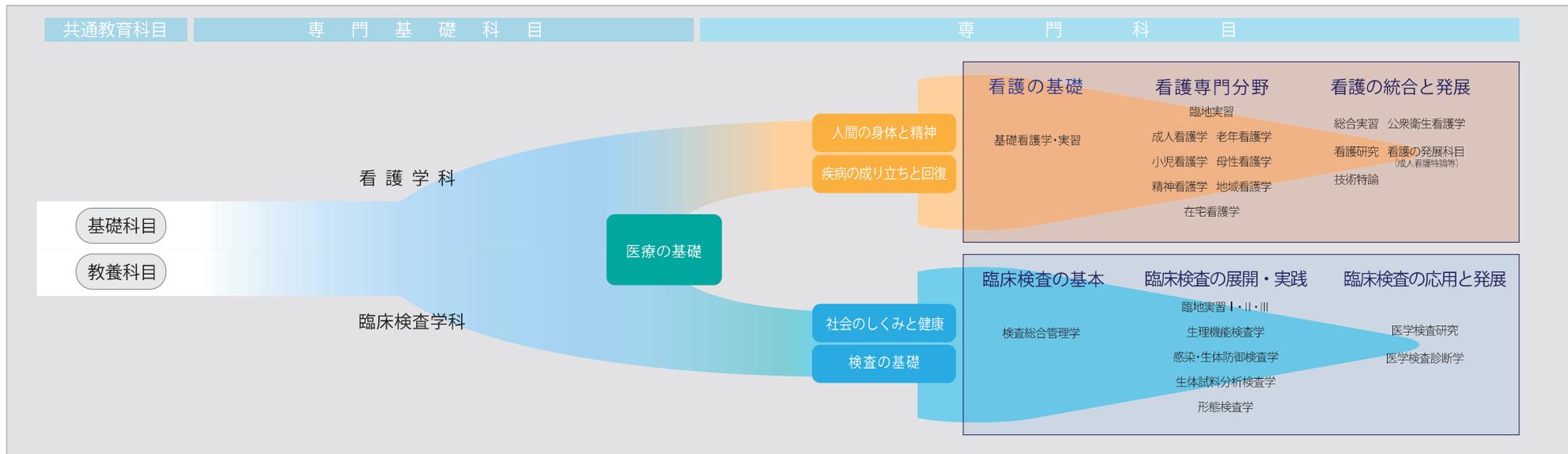
学部長 中西 純子
Junko Nakanishi

【カリキュラムの特色】

深い人間理解や地域理解のもと、保健医療の質の向上に貢献できる専門知識・技術を修得し、実践能力と学術的姿勢が身につくようにカリキュラムを構成しています。

- 人間理解および倫理観の醸成・**
 広く人間を理解し、生命の尊厳や倫理観を養うために必要な教養教育の充実を図り、目的意識をもって学ぶことができるよう選択科目を多く設けています。また、基礎となる科目での学びを深めながら専門分野への興味関心が湧くように、1年次から少しずつ専門科目を学びます。
- コミュニケーション能力の養成・**
 保健医療の分野に携わる者には、正確に物事をとらえ、それを人に伝える能力が大切です。基本的な日本語の文章表現や語学、コミュニケーション論などを学ぶとともに、カウンセリングや面接技術の学習によって自分の意思や感情を表現する方法を身につけます。
- チーム医療の実践力の強化・**
 看護学科・臨床検査学科の2学科で構成される大学の特色を生かし、少人数討議法を取り入れながら相互理解を深め、入学初期の段階から両学科一緒に学ぶ科目を配しています。実習経験を積んだ4年次には、チーム医療の重要性を認識し、他職種役割を理解して共に働くことができる力を身につけます。
- 地域住民の生活理解と健康増進への寄与・**
 社会のしくみや環境との関わりの中で人々の健康を考えることができるよう各種制度論や公衆衛生学を両学科の学生が一緒に学び、少子高齢化社会において人々の健康を手助けする担い手としての力を身につけます。
- 実践に活用できる専門的知識・技術の修得・**
 2年次からの臨地実習や実験によって、科学的知識に基づいて観察・判断できる力や情報を統合し課題を解決する力を身につけます。技術は、卒業時到達度を明確にして全員達成できるよう繰り返し学習します。また、保健医療福祉現場の実践者の協力を得て、現実に近い学びができるよう工夫しています。
- 課題探究能力の養成・**
 1年次から、少人数形式のゼミ等によって大学生としての主体的な学び方や学習資源の活用方法を段階的に身につけます。4年次にはその仕上げとして統合・発展科目群を学習し、課題解決能力や研究的な視点を養います。

-保健科学部カリキュラムの概要-





看護は、人間の生老病死に寄り添いながらその尊厳と安全を守り、もてる力を引き出していく仕事です。超高齢社会にあって、看護職は医療機関はもちろんのこと地域・在宅、福祉施設や企業・学校など、多様な場において様々な人々と連携・協働していく役割が求められています。

- ・看護職として地域社会の役に立ちたいと考える人
- ・人々の生き方・暮らし・健康・社会に関心がある人
- ・リーダーシップ・メンバーシップが発揮できる人

-看護学の専門分野と特徴-

看護学の専門分野は、対象とする人のライフステージや健康レベル、看護を実践する場の特性等によって成り立っています。本学では10頁のような分野に区分して教育を展開しつつ、実習や研究などを通して全体の統合をはかっています。看護師国家試験受験資格を得るための看護基礎教育では、これらの幅広い分野をすべてトータルに学んだジェネラリストの養成をめざします。また、これらに加えて、保健師国家試験受験資格をめざす学生には公衆衛生看護学科目を、看護学の各専門分野をさらに深化・発展させたい学生には看護特論などの発展科目の履修ができるようカリキュラムを構築しています。看護学の専門分野は、近年、より細分化・拡大化し、卒後のキャリアアップでは特定分野のスペシャリストとして活躍する道も広がっています。本学科はその出発点として、知識・技術・態度のすべてにおいて基礎のしっかりした看護職を育てるべく、教育・臨床経験豊かな教員たちが小規模校の特徴を活かして密な指導を展開しています。

-自己教育力を高める看護の道-

看護は人間の生老病死に寄り添いながらその尊厳と安全を守り、もてる力を引き出していく仕事です。このことは昔も今も不変である一方、時代や医療の革新とともにより高い実践力が求められ、看護の役割や働く場も拡大してきました。認定看護師や専門看護師等、より専門性の高い看護師としての道も開けています。決して簡単な道程ではありませんが、その先には誰かのために自分の力が役立つ喜びがあります。大学での4年間で自分自身を育てるのはあなたです。将来、この道を選んで良かったと思う日がきっときます。仲間とともに歩みましょう！

看護学科長 野村美千江
Michie Nomura



看護学科 カリキュラム

年次	1年次		2年次		3年次		4年次		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
共通教育科目	教養科目								
	愛媛の文化性と健康 社会学 文学 哲学 法学 文化人類学 環境科学 大学コンソーシアム えひめ(共同授業)	基礎ゼミ 統計学 生命倫理 心理学 英語Ⅱ 英語Ⅲ スーパーA スーパーB エクササイズ	科学論 国語文(コミュニケーションA) 国語文(コミュニケーションB) 現代メディア論						
	基礎科目								
専門基礎科目	医療の基礎								
	医療概論(共通)		医療と安全(共通)				チーム医療(共通)		
	人間の身体と精神								
	人体の構造・機能Ⅰ(共通) 人体の構造・機能Ⅱ(共通)		人体の構造・機能Ⅲ(共通) 生命活動と代謝		生涯発達心理学(共通) カンメンク入門(共通) 人間工学(共通)		ヒトの遺伝学(共通)		
	疾病の成り立ちと回復								
	疾病発生の機序 感染と免疫 食と栄養(共通)		臨床病態学Ⅰ(共通) 臨床病態学Ⅱ 臨床病態学Ⅲ 薬と健康(共通)		臨床病態学Ⅳ(共通)		リハビリテーション医療 放射線医学(共通)		
	社会のしくみと健康								
	社会保健制度論(共通) 公衆衛生学(共通)		保健政策行政論(共通) 疫学(共通)		医療と経済(共通)		保健統計学(公衆衛生看護学選択者のみ) 保健統計学演習(公衆衛生看護学選択者のみ)		
	専門分野一								
	基礎看護学								
看護学概論 基礎看護方法論Ⅰ (基礎となる援助技術)		基礎看護方法論Ⅱ (生活援助技術)		基礎看護方法論Ⅲ (治療に伴う援助技術) ファンクショナルアセスメント 基礎看護学実習Ⅰ (生活と治療に伴う援助)		看護過程 基礎看護学実習Ⅱ (看護過程) 看護倫理			
専門分野二									
成人看護対象論		健康教育論		成人看護学 急性期看護方法論 慢性期看護方法論 終末期・緩和ケア方法論		急性期看護学実習 慢性期看護学実習			
老年看護対象論		老年看護学		老年看護学実習					
小児看護対象論		小児看護学 小児保健 小児看護方法論		小児看護学実習					
母性看護対象論		母性看護学 フィメンズヘルスケア 母性看護方法論		母性看護学実習					
メンタルヘルス論		精神看護学 精神看護対象論		精神看護学実習					
統合・発展分野									
地域看護学概論 家族看護論		地域診断論		地域・在宅看護学 地域看護方法論 地域ケアマネジメント論 在宅看護論		地域看護学実習 在宅看護論実習			
統合科目									
ふれあい実習		技術特論		災害看護 看護管理 総合実習		看護研究			
発展科目									
				成人看護特論 老年看護特論 小児看護特論 精神看護特論 在宅看護特論 看護教育学					
公衆衛生看護学									
				産業看護活動論 (下記のいずれか1つは公衆衛生看護学選択者のみ受講) 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護学実習 公衆衛生看護学方法論 ヘルスプロモーション論 公衆衛生看護学実習					

※ 共通教育科目は看護学科と臨床検査学科の合同授業(共通)は、看護学科と臨床検査学科の合同講義

-基礎看護学-

看護の基礎となる知識や技術、態度の修得を目指す領域です。例えば、看護の対象となる人間や健康、環境や社会、看護理論などを学ぶとともに、学生が互いに看護師役、患者役となり看護に必要な日常生活援助の技術や血圧測定、採血などの診療補助の技術を身につけます。また、卒業後も医療の発展に対応し、クライアントに最適な看護を実践するための知識や技術を自ら学び続けることができるよう、教授方法を工夫しています。

-老年看護学-

老年看護学分野では、加齢による心身の変化の特性を理解した上で、様々な健康レベルにある高齢者とその家族の健康と生活を支える看護を探求します。疾患や障害をもちながらも生き生きとした暮らしができ、よりよい人生を全うできる支援のあり方を高齢者と共に考え、専門的知識を活用しながら実践する力を身につけます。

-母性看護学-

母性看護学分野では、女性のライフサイクル各期における健康問題とその看護、さらに、新しい家族を迎える女性とその家族に対する妊娠から育児期までの、切れ目ない支援を意識した看護実践について学びます。また、講義・演習・実習を通して、女性の一生を通したリアプロダクティブヘルスに向けた健康支援の意義を、学生間および教員とのディスカッションによって深めていきます。

-地域・在宅看護学-

地域看護学では、地域住民の生活を理解し、健康の保持・増進を支援する方法を教育研究しています。3年次実習で県内の保健所や市町に出向いて地域保健活動を理解し、保健師選択学生は4年次に公衆衛生看護学実習より実践力を培います。在宅看護領域は、入院前後のケアを繋ぐものとして外来看護や訪問看護の意義を理解し、福祉用具を用いて負担を減らす技術など、在宅療養者と家族を支える看護を探究します。

-主な実習施設-

愛媛県立中央病院ほか松山市・伊予市・東温市の医療機関
伊予市の介護老人保健施設
松山市・伊予市・砥部町の訪問看護ステーション
愛媛県内の保健所及び市町
砥部町の保育所

-取得可能な資格-

看護師国家試験受験資格

保健師国家試験受験資格

公衆衛生学選択者のみ取得可能
希望者の中から30名以内を定めます。

看護教諭2種免許申請資格

一般授業科目を放送大学にて受講する必要がある場合があります。

衛生管理者免許申請資格

※看護教諭2種免許申請資格及び衛生管理者免許申請資格は保健師免許取得者が申請可能です。

-成人看護学-

青年期から老年期までの幅広い年齢層にある人々を対象に、発達段階を踏まえ、身体・心理・社会的側面から対象を理解し、健康問題や健康レベルに応じた援助について幅広く学ぶ分野です。生命の危機状態や手術療法にともなう看護、病状や障害とともに生きる人の援助方法について学びます。講義や学内演習でも臨床の場合イメージできるように工夫し、様々な知識・技術を身につけて臨地実習が行えるようにしています。

-小児看護学-

子どもの心と体の健康や病気の時の看護、さらに子どもだけでなく子育てをする家族を含めた看護を学びます。子どもの発達、病気の理解を通じて、子どもの幸せな生活を築き家族の成長をも支える看護の在り方を追求しています。授業や実習は将来の子育てにも役立つ情報がいっぱいの内容です。

-精神看護学-

精神疾患や精神障害の有無に関わらず、広くこころの健康の保持・増進、回復に向けた看護について学びます。実習は、精神科病棟と精神科デイケアセンター、精神障害者の社会復帰施設をフィールドとし、対象となる人々を全人的に理解し、治療的援助関係を築きながら、その人らしい生活を送ることができるように援助する力を養います。





臨床検査は、病気の正確な診断や治療方針を決定するために必要なデータを提供する仕事です。最新の医学を基礎とし、医用機器を駆使した高度な検査を行うとともに、健康増進・予防医学・研究開発の分野でも役割を求められています。このような社会のニーズに応えられる人材を育成するために、臨床検査学科では、保健科学部として求める学生像に加えて下記のような入学生を求めます。

- ・臨床検査技師として、保健医療の分野で活躍したい人
- ・人間の体の仕組みや機能、健康・病気に関心がある人
- ・他者を尊重し、連携・協働していける人

-臨床検査学の専門分野と特徴-

臨床検査は科学技術の進歩が最も迅速に反映される医療分野の一つです。本専門分野では、最新の知識技術に基づいた教育を行い、目覚ましく進歩する医療・臨床検査に対応できる応用力・創造力を持つ専門家の育成に取り組んでいます。特に、最近急速な進歩がみられるがん細胞検査、遺伝子検査をはじめとする種々の先進医療検査を駆使することが出来る深い知識、高度な技術を修得し、医療を担うチームの一員として活躍できる人材の養成を目指しています。

本学科は臨床検査技師の教員と医学系・理学系の教員が、幅広くまた高度な内容について教育研究を行っています。本専門分野の教育は様々な研究背景を持つ教員が協力し、臨床検査の専門家養成のための徹底的な教育・指導体制をとっています。

- 検査でチーム医療に貢献する -

近年の医療の高度化・複雑化に伴い、医療現場では医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、栄養士や理学療法士・作業療法士など多職種の医療スタッフが連携してチーム医療を行うようになってきました。このような中、臨床検査技師も医療チームの一員として果たすべき役割も一層重要なものとなっています。本学科では臨床検査に必要な知識と技術を修得し、新たな課題に対し適切な判断と解決能力を身につける特色あるカリキュラムを用意しています。また本学科では、教育・研究に熱意のある経験豊富な16名の教員が、皆さんに、親切・丁寧に、臨床検査に必要な学修内容の修得の援助をいたします。将来、臨床検査技師として、医療の世界で活躍したいと思っている皆さん、是非、本学で私たちと学びましょう。

臨床検査学科長 佐田 榮司
Eiji Sada



臨床検査学科 カリキュラム

年次	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通教育科目	教養科目							
	愛媛の文化 性・職業 社会学 文学・哲学 文化人類学 環境科学		科学論 国際化コミュニケーションA 国際化コミュニケーションB 現代メディア論					
	大学コンソーシアム えひめ「共同授業」							
共通教育科目	基礎科目							
	初学書ゼミ 日本語表現法 基礎科学A(生物コース) 基礎科学B(化学コース) 基礎科学C(物理コース) 生物学 化学 物理学 情報科学 生命科学 英語Ⅰ 英語Ⅱ スポーツA スポーツB エクササイズ		基礎ゼミ 統計学 生命倫理 心理学 英語Ⅱ 英会話Ⅱ		コミュニケーション論 研究の基礎			
専門基礎科目	医療の基礎							
	医療概論(共通)				医療と安全(共通)		チーム医療(共通)	
	人間の身体と精神							
	人体の構造・機能Ⅰ(共通) 人体の構造・機能Ⅱ(共通)		生体発達心理学(共通) カウンセリング入門(共通) 人間工学(共通)		ヒトの遺伝学(共通)		患者・家族の心理	
	疾病の成り立ちと回復							
	食と栄養(共通)		臨床病理学Ⅰ(共通) 薬と健康(共通)		臨床病理学Ⅱ(共通)		臨床病理学Ⅴ 放射線医学(共通)	
	社会のしくみと健康							
	社会福祉制度論(共通) 環境衛生学 公衆衛生学(共通)		健康医療福祉行政論(共通) 公衆衛生学実習 疫学(共通)		医療と経済(共通)			
	検査の基礎							
	分析化学 生化学 医用物理学		生化学実習 医用工学		医用工学実習			
専門科目	形態検査学							
	病理学 血液学		病理学実習 臨床血液学		病理組織細胞学 臨床血液学実習		病理組織細胞学実習	
	生体試料分析検査学							
	臨床検査総論 臨床検査検査総論 臨床化学Ⅰ		臨床検査総論実習 臨床化学Ⅱ		臨床化学実習 分子生物学 遺伝子検査学		放射線検査総論 遺伝子検査学実習	
	感染・生体防御検査学							
	微生物学 免疫学		臨床微生物学Ⅰ 臨床微生物学Ⅱ 臨床免疫学		微生物学実習 臨床免疫学実習 輸血移植検査学		臨床微生物学実習 免疫学	
	生理機能検査学							
	生理機能検査学Ⅰ		生理機能検査学Ⅱ		生理機能検査学実習Ⅰ		生理機能検査学実習Ⅱ 百療検査学	
	検査総合管理学							
	臨床検査学概論				院内感染管理学 医療情報学		検査管理学	
医学検査の実践								
臨床実習Ⅰ				臨床実習Ⅱ		臨床実習Ⅲ		
医学検査の応用・発展								
				医学検査診断学Ⅰ 医学検査診断学Ⅱ 医学検査研究 医学検査セミナー				
		食品衛生管理者・ 食品衛生監視員の 任用資格取得科目 食品関係法規 食品衛生学 衛生行政学 薬理学						

※共通教育科目は看護学科と臨床検査学科の合同授業
(共通)は、看護学科と臨床検査学科の合同講義

-形態検査学-

生体を構成する臓器や組織、血液細胞の形態を観察し、正常と異常の相違点、異常と疾病の関係を理解するために形態学的検査技術および理論を基礎から学びます。「病理組織細胞学実習」や「臨床血液学実習」を通じて、標本の作成法や種々の染色法を駆使して顕微鏡観察を行うことにより、各組織の特長を把握し、反応性病変、癌細胞や白血病細胞、赤血球の形態異常などを正確に判定する方法を学びます。

-感染・生体防御検査学-

近年、著しい進歩を遂げている免疫学ではあるが臨床への応用・還元という点では、まだ不十分であります。更に、温暖化の影響によって日本でこれまで無縁と考えられていた感染症が確認されるようになってきました。このような状況の中で、生体防御機構や感染症についてより深く学ぶと共に実習を通じて自己免疫やアレルギー疾患の診断に重要な検査方法についても学びます。

-検査総合管理学-

検査総合管理学では、臨床検査技師の役割や、臨床検査データの重要性を理解するために、臨床検査の歴史から臨床検査技師に関する法律まで幅広く学習します。特に、臨床検査データの品質管理である精度管理と、医療事故や院内感染などに対する危機・安全管理、臨床検査部門を運営するための人事・財務管理などを重点的に学びます。

-主な実習施設-

臨床実習Ⅰ	愛媛生協病院 済生会松山病院 貞本病院 廣の子病院 道後温泉病院 N T T 西日本松山病院 国立病院機構愛媛医療センター
臨床実習Ⅱ	愛媛県中予保健所 愛媛県衛生環境研究所 愛媛県総合保健協会 愛媛県厚生連健診センター
臨床実習Ⅲ	愛媛県立中央病院 愛媛大学医学部附属病院 国立病院機構四国がんセンター 松山赤十字病院

-取得可能な資格-

- 臨床検査技師国家試験受験資格
- 甲種危険物取扱者試験受験資格
- 食品衛生管理者・食品衛生監視員任用資格

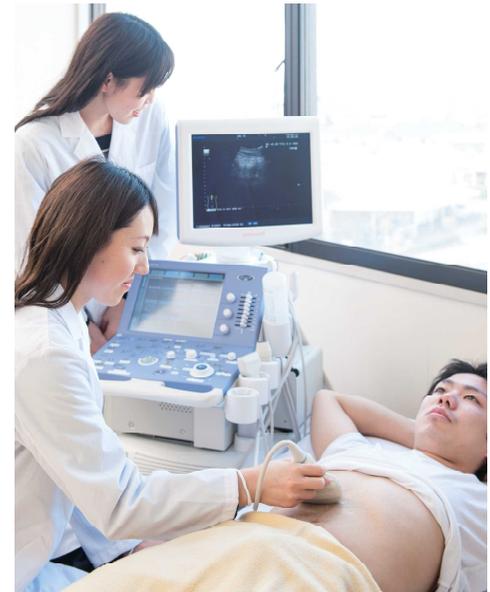
※食品衛生管理者・食品衛生監視員任用資格は必要な選択科目を習得する必要があります。

-生体試料分析検査学-

血液や尿などに含まれる様々な成分を化学的分析法、遺伝子検査法などを用いて測定し、病気の診断、治療、予後、治療の適否や健康状態を的確に把握するためのデータを得る方法について学びます。また、これらの内容を十分に理解し修得するために、生命現象を分子レベルで把握する分子生物学、検査に使用される機器の基本的な構造、使用方法や測定に使用される放射性物質の取り扱いについても学びます。

-生理機能検査学-

生理機能検査は、病気の診断や治療に必要な情報を得るため、ヒトの体に直接触れて調べる検査です。検査項目によっては、技師の能力が検査結果に影響を及ぼす場合があります。技師として、より良い生体情報を得られる能力・技術を身につけるだけでなく、検査結果を解析し評価できる能力が必要になります。そのために検査手技・データ解析能力だけでなく、機器の構造・原理等についても学びます。また、患者と接する検査ということから接遇・個人情報保護等についても学びます。



助産学専攻科 Graduate Program in Midwifery



助産師は、あらゆるライフステージにある女性と家族を支援するために、母子や家族に寄り添える豊かな人間性と助産学の知識・技術に基づく高度な実践能力を必要とする職業です。現代の少子・高齢社会においては、母子保健を担う助産師に求められるニーズは幅広く、医療機関のほか、助産所・保健所・市町村など、多様な分野における活躍が期待されています。このような社会のニーズに応えられる人材を育成するために、助産学専攻科では下記のような入学生を求めます。

- ・生命誕生に強い関心を持ち、主体的に助産学を学習できる人
- ・地域の母子保健に貢献する意志をもつ人
- ・豊かな感性と倫理観を持ち、柔軟な発想をもってものごとに立ち向かえる人

※助産学専攻科に入学するためには、大学卒業等の資格を有し、かつ看護師免許を有するか又は看護師国家試験受験資格を有することが必要です。

-到達目標-

<p>倫理観と責任感</p> <p>生命の尊厳を基礎とし、助産師としての倫理観と責任感をもち、対象を尊重することができる。</p>	<p>地域に密着した活動</p> <p>女性が安心して子どもを産み育てられる環境を整えるために、地域と密着した積極的な活動ができる。</p>	<p>自立</p> <p>専門職業人として、自立した助産師として役割が実行できる。</p>
<p>柔軟な思考</p> <p>困難な患者の高度化や多様化する個別症例、時代のニーズに対応できる柔軟な思考を持つことができる。</p>	<p>リプロダクティブヘルス/ライツ</p> <p>女性のリプロダクティブヘルス/ライツに関する健康課題について、広い視野から実働することができる。</p>	<p>研究</p> <p>助産ケアの質の向上を図るために、日々行っているケアを研究的視点で科学的に検証し、追究することができる。</p>
<p>助産診断・助産技術</p> <p>マタニティスクールにある女性のその人らしさを尊重し、自然の機序を最大限に發揮するための基本的な助産診断及び助産技術を習得できる。</p>		

-1年後の感動を目指して-

助産師受験資格を取得するには、かつて本学もそうであったように4年間の看護基礎教育課程のなかで、看護師受験資格と同時に取得することができる大学もあります。そのようななか、本学助産学専攻科の特徴は、学士力と看護師としての基礎的な実践力を身に付けた上に、助産師としての専門的な知識やスキルの獲得に1年間集中できることにあります。そのため、助産師国家試験合格率は専攻科開設以来100%合格を続けていますし、仲間同士の絆も深く、修了後のネットワークにもつながっています。そこにはプラス1年の価値が十分にあると確信しています。1年間の短い時間のなかで昼夜を問わない実習には覚悟が必要ですが、それだけにやりきった先の達成感は大きく、それを教員、臨地実習施設の指導者、協力していただく妊産婦の方たちとともに喜び合える感動が待っています。



専攻科長 中西 純子
Junko Nakanishi

卒業生の状況

平成29年3月に卒業した学生は、

○ **国家試験合格率99.3%**

平成28年度卒業生の国家試験合格状況 ※新卒者のみ

学科・専攻科	国家試験	受験者数(名)	合格者数(名)	合格率(%)	全国合格率(%)
看護学科	看護師	78	78	100	94.3
	保健師	32	32	100	94.5
助産学専攻科	助産師	13	13	100	93.2
臨床検査学科	臨床検査技師	27	26	96.3	89.9
合計		150	149	99.3	-

○ **平成28年度卒業生(就職希望者)就職率100%**

卒業128名=就職107名+進学11名+継続勤務10名

平成28年度就職状況

看護学科 就職状況

県内	県外
愛媛県立病院 愛媛県・保健師 愛媛大学医学部付属病院 独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター 松山赤十字病院 松野町・保健師 松山市民病院 済生会西条病院 伊予病院 国民健康保険久万高原町立病院 済生会今治病院 矢野産婦人科	愛媛県内 愛媛県内 東温市 松山市 松山市 松野町 松山市 西条市 伊予市 久高町 今治市 松山市

県内	県外
萩市役所・保健師 鳥取市役所・保健師 広島市役所・保健師 福山市民病院 大阪医科大学付属病院 大阪大学医学部付属病院 兵庫医科大学病院 神戸大学医学部付属病院 岡山大学病院 香川大学医学部付属病院 杏林大学医学部付属病院 順天堂大学医学部附属順天堂病院 順天堂大学医学部附属浦安病院 国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター 独立行政法人 国立病院機構 岡山医療センター 独立行政法人 国立病院機構 四国こどもとのおとこの医療センター 社会医療法人 聖仁会 高槻病院 大津赤十字病院 一般財団法人 神戸市地域医療振興財団 西神戸医療センター 公益社団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 医療法人 更生会 草津病院 (精神) 済生会 広島病院 広島県厚生農業協同組合連合会 JA尾道総合病院 香川県済生会病院	山口県 鳥取県 広島県 福山市 大阪府 大阪府 兵庫県 兵庫県 岡山県 香川県 東京都 千葉県 大阪府 岡山県 香川県 東京都 千葉県 大阪府 岡山県 香川県 大阪府 滋賀県 兵庫県 岡山県 広島県 広島県 香川県

進学	就職
愛媛県立医療技術大学助産学専攻科 大分県立看護科学大学大学院 (広域看護学)	愛媛県 大分県

臨床検査学科 就職状況

県内	県外
松山市民病院 済生会今治病院 済生会西条病院 住友別子病院 愛媛労災病院 十全総合病院 社会医療法人同心会 西条中央病院 おおぞら病院 よつば循環器クリニック 医療法人順天会 放射線第一病院 愛媛県総合保健協会 愛媛県厚生農業協同組合連合会	松山市 今治市 西条市 新居浜市 新居浜市 新居浜市 西条市 松山市 松山市 今治市 今治市 松山市

県外	進学
鳥根県病院局 (鳥根県立病院) 香川大学医学部附属病院 独立行政法人 静岡市立静岡病院 J A 広島 広島総合病院 呉市医師会病院 一般財団法人 防府消化器病センター 高松赤十字病院 社会医療法人 同心会 古賀総合病院 株式会社フアロバイオシステムズ 社会医療法人財団 白十字会 佐世保中央病院	鳥根県 香川県 静岡県 広島県 広島県 山口県 香川県 富山県 京都府 長崎県

進学	就職
東北大学大学院医学系研究科保健学専攻 (分子血液学分野)	宮城県

助産学専攻科 就職状況

県内	県外
愛媛県 (県病院) 愛媛大学医学部附属病院 松山赤十字病院 公立学校共済組合 四国中央病院 N T T 西日本松山病院	愛媛県内 東温市 松山市 西条市 松山市

県外	就職
鳥取大学医学部附属病院 高知大学医学部附属病院 地方独立行政法人 広島市立病院機構 淀川キリスト教病院	鳥取県 高知県 広島県 大阪府

授業料・奨学金・その他の制度

授業料・諸費用 (平成28年度実績) ※金額は改定される場合があります。

区分	保健科学部	助産学専攻科	大学院	備考	
入学選考料	17,000円	17,000円	30,000円		
入学科	県内居住者	282,000円	169,200円	282,000円	2017年度に1回卒業する者 (入学前本人が平成29年4月1日以前に引当校費債権内に住所を有する者 の入学前本人の配偶者又は1親等の親族が平成29年4月1日以前に引当校費 債権内に住所を有する者)
	県外居住者	423,000円	253,800円	423,000円	上記以外の者
授業料	535,800円	535,800円	535,800円	前期(4月)後期(10月)に半額ずつ納付	

減免制度

特別の事情(学費を負担している者が死亡したり、災害に遭ったりした場合等)により、授業料等(入学選考料、入学科及び授業料)を納付することが困難と認められる者に対し、減免等(減免、納付猶予及び分納)の制度を設けています。

奨学金制度

奨学金は、成績が良好かつ経済的な理由で修学が困難な学生に、学業の継続を援助するための資金を貸し付ける制度で、以下の制度があります。本学では、学内掲示板で随時お知らせするとともに、例年4月に奨学金説明会を開催しています。

日本学生支援機構奨学金(選考あり)	その他
第一種【無利子貸与】 (1) 保健科学部、助産学専攻科 自宅通学者 月額 45,000円 自宅外通学者 月額 51,000円 ※上記のほか、月額30,000円も選択できます。 (2) 大学院 月額 5万円、8万8千円の2種類から選択できます。	自治体や公的団体などで奨学金制度を整備しているところもありますので、詳細は事務局教務学生グループへお問い合わせください。
第二種【有利子貸与】 (1) 保健科学部、助産学専攻科 月額 3万円、5万円、8万円、10万円、12万円の5種類から選択できます。 (2) 大学院 月額 5万円、8万円、10万円、13万円、15万円の5種類から選択できます。	

詳しくは [日本学生支援機構ホームページ](http://www.jasso.go.jp) <http://www.jasso.go.jp>

総合補償制度

実習先を含めた大学管理下(学内、登下校中、サークル活動中等)での傷害事故、実習中の針刺し事故などに起因する検査・治療費用及び第三者に対する賠償責任等(交通事故を除く)を補償する保険制度に、本学の学生は全員が加入します。

なお、保険料の負担や加入手続きは、後援会で行います。

【保険料 年間:4,500円】

大学院 保健医療学研究科 -平成 26 年 4 月開設-

基本理念・教育目標

基本理念

保健医療学研究科は、「地域の保健医療を支える」を基本理念として、保健医療の分野に関してより高度で専門的な学術理論及び実践能力を修得するとともに、総合的な判断能力・指導力・教育力を有する高度専門職業人を育成します。

教育目標

本研究科は、保健医療福祉分野における社会的な諸課題を具体的に解決することにより健康でこころ豊かに生活できる地域社会の実現に貢献し得る高度専門職業人を育成することを基本目標とし、修士課程において次のような能力を有する人材を育成します。

- 保健医療機関、地域、行政、教育などの現場において、リーダーまたは管理者として中心的な役割を果たし、活躍できる人材を育成する。
- 実践の現場で展開されている諸現象について科学的に検証しエビデンスを明確にするとともに、学術研究を通してそれらをさらに深化・発展させ、その成果を実践に適用することのできる人材を育成する。
- 地域社会で生じている保健医療福祉の諸課題について、その内容を学問的・体系的に俯瞰するとともに、背景にある原因や要因、解決策について解明し、関係者や社会への発信、諸制度や地域システム改善の提言、関係職種との協働活動を展開できる人材を育成する。

看護学専攻の教育目標

看護に関する学習や経験を振り返り意味づけする力、人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力、論理的に思考し人々に説明できる力を身につけ、高度専門職業人として実践の場でリーダー・管理者・教育者の役割を発揮できる人材を育成する。

医療技術科学専攻の教育目標

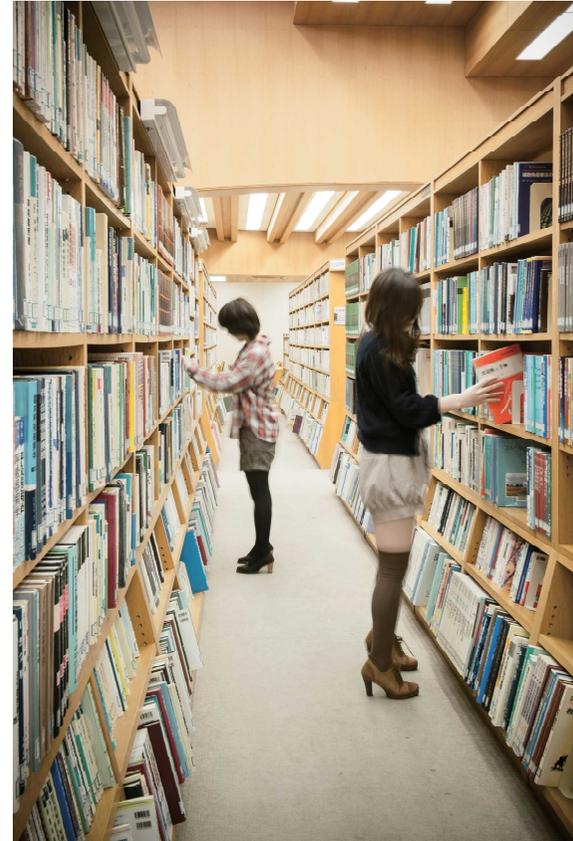
臨床検査の学習や経験を基盤に、臨床検査を中心とする医療技術科学において、高度の知識を活用した医療技術の開発・改良を行う力、卓越した検査技術を駆使する力を身につけ、高度専門職業人として実践の場におけるリーダー・管理者・教育者の役割を発揮できる人材を育成する。

定員 看護学専攻 5 名 医療技術科学専攻 3 名



詳細についてはHPをご覧ください。
<http://www.epu.ac.jp/>

LIBRARY 図書館



図書館ラーニングcommons

- 学内だけでなく地域からも愛される図書館として -

図書館は、学生や教員の教育や研究活動を支援するための図書、雑誌、学術情報データベースおよび電子ジャーナルをそろえています。看護学・臨床検査学・医療に関する資料は県内随一であり、本学学生だけでなく愛媛県内の看護師、臨床検査技師の人たちや一般の人たちも医療の情報を収集するために利用しています。平日は午前9時から午後9時まで、土曜日午前9時から午後5時まで開館しているため、常に館内の学習スペースやラーニングcommonsでは、学生や教員が勉強や研究活動のために活用しています。

図書館長 草薙 康城
Yasuki Kusanagi



在校生からのメッセージ



看護学科 4年

「サークル活動で貴重な体験」

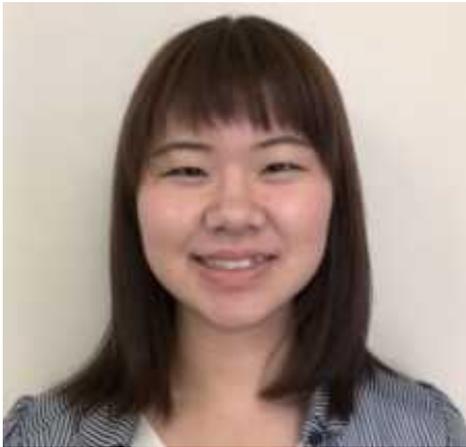
私は災害医療系サークル医技タクトに所属しています。自身の主な活動としては、東北派遣に行ったり、BLSの取得、また学祭で企画してその報告として学会発表を行いました。どれも普段の生活ではなかなか経験できないことです。仲間と一緒に活動することで大学生ならではの青春も味わえたと思っています。これから就活、看護研究、国試とまだまだ課題は残っていますが、最後まで充実した大学生活を送りたいと思っています。



臨床検査学科 4年

「多忙な医療系大学4年生」

4年生では症例の検討を行うRQPCの授業や、2ヶ月間の臨床実習があります。今まで学んできたことがどれほど身についているか再確認できるうえ、教科ごとの知識から総合的に考えることができます。臨床実習では患者さんへの対応や検査業務にあたっての心構えなど検査技師の方々の働く姿から多くのことを学びます。学生生活も残り1年をきり、大変なこともありますが、先生方のご指導のもと、仲間と共に充実した日々を送っています。



臨床検査学科 2年

「仲間と支え合う学生生活！」

医療技術大学は少人数であり、特に臨床検査学科は学生数が少なく、学生間の接点が多いため、仲が良いのが特徴です。また、同じ目標を持った学生が集まっており、分からないところはみんなで解決して、助け合っています。先生方も丁寧に指導してくださるので、勉強しやすい環境が整っています。また、様々なサークル活動が行われているので、自分にあったサークルを見つけることができます。優しい先輩方や仲間に関われ、勉強やアルバイトなど、忙しくも充実した学校生活を送れています。



看護学科 2年

「医技大の魅力発見!!」

医療技術大学は少人数で同級生はもちろん、先輩や先生とも距離が近く、勉強面やサークル面、私生活面で悩んだとき、力になってくれる優しい人が多いです。さらに、医療の書籍が多い図書室、物品がそろった演習室、先生の行き届いた指導など自分の目標に向け学ぶ環境が充実しています。また、学業だけでなく、サークル活動で興味を深めたり、バイトをして友達と遊ぶ日があったり、うまく両立しながら忙しくも楽しい毎日を送っています。

卒業生からのメッセージ



平成22年 看護学科 助産学専攻科 卒業
松山赤十字病院 勤務

「妊産婦が安心できる助産師を目指して」

学生の実習の時から就職してこれまで、たくさんのお母さんや赤ちゃんに関わらせて頂き、様々なことを経験するとともに自分の助産師としての信念を育んできました。妊婦健診や保胎治療をする中で信頼関係を築き、満足できる出産のサポート、産後のスタートの援助と、妊娠中から産後までサポートができるこの仕事が大好きです。お母さん方ととりどり丁寧に関わり、少しでも安心して過ごして頂けるようなケアを大切にしています。



平成27年 看護学科 卒業
愛媛大学医学部附属病院 勤務

「看護師を目指されている方々へ」

愛媛大学医学部附属病院の集中治療室で勤務しています。生命の危機にある患者さんが多く搬送されてくるので、初めは不安で自分おしいくないと悩む時期もありました。そんな時に思い出したのが「向き不向きではなく、やりたいかどうかを考えませんか?」という先生の言葉でした。そして師長や先輩方の支えもあり、やりがいをもって患者さんと向き合うことができました。今年から救急外来も担当するので、さらなる自己研鑽に努めたいです。



平成26年 看護学科 卒業
八幡浜保健所 勤務

「気付いたら真似ていた先輩の習慣」

現在、八幡浜保健所に勤務している。私の職場は机の上を拭く事から始まる。これは入職当初上司から言われた事。この習慣は来行者のためだけでなく、職場の人とのコミュニケーション、自身の心のゆとりを得ることも出ている。それは、心にゆとりを持って住民の話を聴く、何度も地域へ足を運ぶ、めまざまと関わり続ける等の保健師としての姿勢に繋がっていると感ずる。これからも継続を大切に、人と関わり、学び、成長したい。



平成28年 臨床検査学科 卒業
医療法人住友別子病院 勤務

「検査もコミュニケーションが大切」

住友別子病院に就職し、生理機能検査に配属されて2年目になります。日常業務に加えて当直の仕事など、覚えることが多く大変ですが、充実した日々を過ごしています。生理機能検査は、直接患者さんに触れられ、コミュニケーションを必要とする仕事であり、患者さんの気持ちに寄り添った検査を心がけています。現在は、心電図や肺機能、脳波検査を中心にしていますが、これから超音波検査など新しいことにもチャレンジしていきたいと思っています。

Campus Calender

4月	入学式 前期授業開始 新入生ガイダンス 健康診断	
5月	交通安全教室	
6月	開学記念日 犯罪被害防止教室	
7月	前期試験	
8月	夏季休業 オープンキャンパス(第1回)	
9月		
10月	後期授業開始 学生祭 オープンキャンパス(第2回) 消防訓練・避難訓練	
11月		
12月	就職ガイダンスセミナー オープンキャンパス(第3回)	
1月	冬季休業	
2月	後期試験 看護師・保健師・助産師国家試験 臨床検査技師国家試験	
3月	卒業式・修了式 春季休業	

地域交流センター Regional Friendship

-知的・人材財産を地域にいかす-

地域交流センターは、県民および保健医療福祉の専門職の交流拠点として、人材育成機能、調査研究機能、相談支援機能、情報発信機能を備え、本学の施設・設備と人材を活用した事業を展開しています。行政や関係機関、NPO法人などの各種団体との連携を図り、学生たちとともに県民の皆さんの健康づくりに貢献できるよう活動してまいります。

地域交流センター長 豊田 ゆかり
Yukari Toyota



サークル紹介

- dottore (フットサルサークル)
- ソフトテニス
- V I V O (ダンスサークル)
- バレーボール
- ティアレ (フラダンスサークル)
- バトミントン
- 医技タット (ボランティアサークル)
- 自治会
- MEDIC (テニスサークル)
- SAKURA (茶道サークル)
- STS サークル (障害児ボランティア)
- Peer (性教育サークル)
- sign (手話サークル)
- バスケットボール



楽しい学生生活の中で個性を育んでいきます！

平成28年度実施事業のご案内

子育てフェスタ



子ども夢プロジェクト



面白理科実験教室



看護実践セミナー



地域包括ケアを考える研修会



リレー・フォー・ライフ・2016



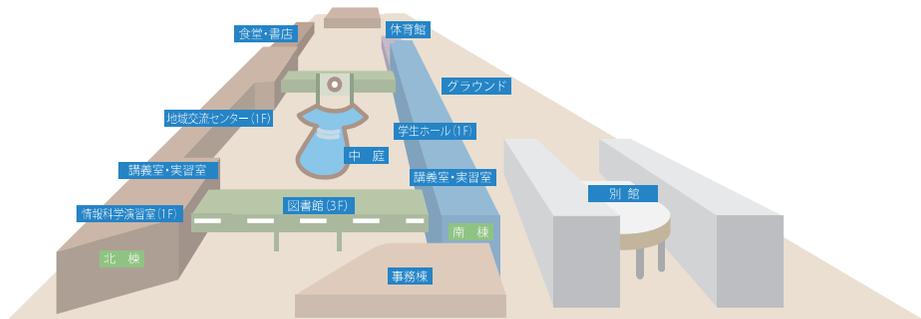
思春期保健スキルアップ研修会



Campus Guide

キャンパスガイド

自然に恵まれたキャンパスで、のびのびと充実した学生生活がおくれるよう施設・設備を備えています。講義室や各実習室にはA V機器、実習器具などを備え、医療技術を学ぶ十分な環境があります。また、高度情報化時代に対応した学内LANシステムを整備しており、学内の図書館、演習室、学生自習室、学生ホールなどでは、無線LANにより、インターネットや学内サーバーへの接続が可能です。



成人看護学実習室

成人期にある人の治療・検査に伴う看護や療養生活を支える看護について学びます。



臨床化学実験室

疾患の診断に有用なデータを得るため、生体中の物質の分析・測定方法を学びます。



階段講義室

150インチの 프로젝ターを備えた、183名収容の階段教室。両学科合同で開講する科目など大人数で受講する授業やA V機器を使う授業に使用します。



学生ホール

自動販売機、銀行のキャッシュコーナー、求人案内のコーナーがあります。団らん、情報交換の場にご利用しています。



食堂

食堂横には、昼食時に利用できるスペースを設けています。



基礎看護学実習室

ベッドメイキングや血圧測定、採血など基礎的な看護技術を学びます。



臨床生理学実習室

脳波計や超音波診断装置などで生体の生理機能の変化を学びます。



情報科学演習室

最新のパソコンを52台設置して、インターネットに常時接続。学生全員にe-mailアドレスが与えられます。



体育館

スポーツの授業で利用するほかサークル活動でも利用できます。入学式、卒業式もここでを行います。



中庭

豊かな緑に囲まれ、学生の憩いの場となっています。

入学試験・オープンキャンパスについて

入学試験情報 平成29年度入学試験実施状況

学部学科または専攻科の別	定員	募集人数 A		出願者 B	受験者 C	合格者 D	入学者 E	出願倍率 (B/A)	受験倍率 (C/A)	合格倍率 (C/D)
保健科学部	看護学科	前期	42	82	68	50	47	2.0	1.6	1.4
		後期	5	78	16	6	4	15.6	3.2	2.7
		推薦	26	76	76	23	23	2.9	2.9	3.3
		社会人	2	1	1	1	1	0.5	0.5	1.0
		計	75	237	161	80	75	3.2	2.1	2.0
	臨床検査学科	前期	15	65	56	18	17	4.3	3.7	3.1
		推薦	10	39	39	8	8	3.9	3.9	4.9
		計	25	104	95	26	25	4.2	3.8	3.7
		前期	57	147	124	68	64	2.6	2.2	1.8
		後期	5	78	16	6	4	15.6	3.2	2.7
学部合計	推薦	36	115	115	31	31	3.2	3.2	3.7	
	社会人	2	1	1	1	1	0.5	0.5	1.0	
	計	100	341	256	106	100	3.4	2.6	2.4	
	本学	4	14	14	4	4	3.5	3.5	3.5	
	県内枠/一般	11	28	28	14	10	2.5	2.5	2.0	
助産学専攻科	(内)県内枠	4	7	7	5	5	1.8	1.8	1.4	
	計	15	42	42	18	14	2.8	2.8	2.3	
	看護学専攻	5	一般/社会人	5	6	6	6	1.2	1.2	1.0
	医療技術科学専攻	3	一般/社会人	3	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	大学院合計	8	計	8	6	6	6	0.8	0.8	1.0

平成30年度入試募集要項の請求

資料の請求方法 インターネット・電話による請求申込
 テレメール(インターネットまたは24時間自動音声応答電話)をご利用下さい。

インターネット <http://telemail.jp> or 自動音声応答電話
 IP 電話 050-8601-0101

資料請求番号 一般入試募集要項 549300 (215 円後納)
 特別選抜募集要項 (推薦、社会人、私費外国人) 549310 (250 円後納)
 助産学専攻科募集要項 (推薦・一般) 546120 (250 円後納)

※送料はお振付する資料に同封されている支払い方法に従い、表示料金をお支払い下さい。
 ※発送開始日以前に請求された資料は予約受付になり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。その際は、発送開始日から2-3日程度で資料が届きます。

スマートフォン
 QRコードからも簡単に請求できます。



請求方法についてのお問い合わせ テレメールカスタマーセンター IP 電話 050-8601-0102

オープンキャンパス・大学見学について

本学では、例年オープンキャンパスを実施しています。在学生と教員による大学紹介、施設紹介、模擬実習など、大学を肌で感じることが出来ます。
 また、大学見学をご希望の方は、事前に(できれば1週間前までに)大学事務局に確認してからお越しください。日程や時間の調整ができれば、実際の演習や授業風景をご覧いただくことも可能です。なお、本学は土曜日、日曜日及び祝祭日はお休みです。平日であれば、夏休み・冬休み期間中でも見学等に対応しています。

問い合わせ/愛媛県立医療技術大学 教務学生グループ TEL 089-958-2111 (内線108・109)

ACCESS MAP

ACCESS MAP アクセスマップ

